



DATA・BOARD(48)

- ①京都府加佐郡大江町仏性寺
- ②大鬼面高さ：5 m, 幅4.2 m, 青海波唐破風幅：7 m, 奥行き5 m
- ③大江山平成の大鬼, 青海波唐破風
- ④全国産各地の瓦など



鬼伝説で知られる大江町では、大江山の麓を酒呑童子の里と命名し、鬼をテーマとしてまちづくりを進め、多彩な事業を展開している。

「大江山シンボル整備事業」は、酒呑童子の里に瓦で巨大な鬼面をつくり、里のシンボルとしたものである。

大江山平成の大鬼（大鬼面瓦）は、全国の鬼瓦職人で組織する全国鬼師の会の会員が共同制作したもので、一三〇のパーツに分けた鬼瓦を、全国各地の土と技法により焼き上げ、酒呑童子の里に集めて組み上げた。

また、大分県に古くから伝わる玄関飾りの鬼瓦である青海波唐破風も併せて制作され、全国の鬼師の技術交流が深められた。隣接する日本の鬼の交流博物館とともに見学者の注目を集めている。